

第20回『ナビゲーション講座 基礎編』 開催のご案内

「自分の子ども（あるいは部下）にやる気を出して成長してもらいたい、そのためにはどのように接すればいいのだろうか？」という課題は多くの方にとって身近なものだと思います。しかし「勉強しなさい」と命令せずに子どもが勉強するような接し方などあるのだろうか？あるいは手伝いすぎずに本人が成長するようなやり方があるのだろうか？という疑問が湧きます。「こうすればよい」という一つの正解があるわけではありません。

私たちは“ラーネット・グローバルスクール”で、一人一人の子どもたちをつぶさに観察し、彼らの学習意欲を高める接し方について長年実践してきました。接し方の一つの正解はないものの、接し方をどう考えればよいかという方法論が次第に見えてきて、それを『ナビゲーション』と呼んでいます。

「ナビゲーション」には3つの要素があります。

- (1) 知る・感じる：一人一人の子どもの特徴を観察や関わる中で知り、感じる。
- (2) ゴールイメージをもつ：どのような能力や態度・価値観を持って欲しいかというイメージを持ち、必要に応じ子どもと共有する
- (3) ナビゲートする：子どもが自分でできるようになるために様々な接し方を試みる

『ナビゲーション講座』は、この『ナビゲーション』の考え方を体験的に学んでいただく講座です。もう7年以上実施しており、多数の方にご参加いただきました。おかげさまで大変ご好評をいただいております。このたび19回目の基礎編講座を開催いたします。宿泊して実施する密度の濃い講座で多くの気づきがあり、参加された方の満足度は100%です。参加された方同士のその後のつながりも広がっています。「学習意欲を高める接し方」について問題意識をお持ちの方には是非ご参加いただきたいお勧めの講座です。保護者の方々や教育関係者に限らず、学生、一般の方々など、どなたでも参加いただけます。

- * 参考図書：『第3の教育—突き抜けた才能は、ここから生まれる』炭谷俊樹著（角川書店）
- * ラーンネット・グローバルスクール ホームページ：<http://1-net.com>

要領は下記の通りです。どうぞ万障お繰り合わせの上ご参加ください。

— 記 —

- ① 対象者：・ナビゲータになりたいと考えている方
・親として子どもの接し方を思索している方
・教師として子どもへのアプローチ方法を模索している方
・企業・団体でスタッフ育成に関わっている方
・その他、ラーネットのナビゲーションの考え方に興味をお持ちの方
- ② 講座内容：・「ナビゲーション」とは何か、「第3の教育」とは何か、という基本概念を知る。
・ワークショップを通じて、「人や自分について知る」ための観点やアプローチについて体験する。
・ラーネットでの実例・事例等を題材としたディスカッションを通じて、ナビゲーションの考えに基づいた主体的な問題解決アプローチを習得する。
- ③ ナビゲータ：炭谷俊樹ほか
- ④ 日程：平成24年4月14日(土)～4月15日(日) 1泊2日
(1日目 9:45 開始、2日目 16:00 終了 17:00 解散予定)
- ⑤ 場所：ラーネット・グローバルスクール 六甲山のびのびロッジ
- ⑥ 費用：受講料 28,000 円+実費（宿泊料金と食費(4食)：14,000 円程度)

⑦ 募集定員：16名

⑧ 申込〆切：平成24年 3月23日（金）

※定員になり次第締切りますのでお早めに！

⑨ 申込問合せ：tel：078-436-8575 mail：navi@l-net.com

（担当：藤原・吉田）

参加申込の方には詳細をご案内しますので、住所、氏名、連絡先（電話番号）をお知らせ下さい。

- ⑩ 講座の流れ：
- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 4月14日（土） | ・ナビゲーションの考え方 |
| | ・ナビゲーションの実例紹介 |
| | ・人や自分を知るワークショップ |
| | ・懇親会 |
| 4月15日（日） | ・学習の動機付けについて |
| | ・ナビゲーション・ケーススタディ
（事例についてのディスカッション） |
| | ・ちょっとブレイク：知の探究 |
| | ・振り返り |

参加者の声（講座体験記、またはふりかえりシートより）

～第19回講座参加者の声～

- ☆ 内容は子供に対する教育についてですが、子供について考えることは人間について考えるのと同じなので、今後人と関わるうえで頭のどこかで常に考えておけるようにしたいと感じました。また他の参加者さんとは初対面にも関わらず、自分のことを快く受け入れていただき、自由に思ったことを言える雰囲気の中で議論に参加させていただいて、大変うれしかったです。（中略）評価されないことがわかっている議論の場があるのは重要で、もっと身近に増やせれば、とも感じました。
（会社員・女性）
- ☆ 相手の長所を知り、トータルで相手を認めることがいかに人間関係をスムーズにすることに有効であるか実感できました。講義は少なく、ロールプレイを含み、体感できる要素が多い構成は、心で理解しやすかったです。
（書道講師・女性）
- ☆ ナビゲートする以前に「認め、信じる」という原点の確認というところが重要であり、ここで時間をゆっくり取って頂いたのが良かったと思います。
（会社員・男性）

～第18回講座参加者の声～

子どもの時にどういった過ごし方をすれば、生き活きた大人になれるかを知りたくて参加した。参加してみて感じたのは子どもだけでなく、大人になってからも毎日の成長が可能で、日々を生き生き生きていくことができるということ。講座に参加している方は全員大人だが、皆真剣にワークショップなどを取り組み、そこから何かを考え感じ取り、新しい自分や世界を発見していた。また今回参加されている方々は、子どもや周りの人への接し方にとっても意識の高い人々の集まりだと感じた。年齢、職業など様々な人と同じテーマを真剣に話し合えたことがとても有意義だった。今回参加されてる方がコミュニケーション上手だったからか、同じテーマに関心を持つ人が集まったからか、初めて会う方々ばかりのはずなのに、前からの知り合いのようにとっても和気藹々とした時間の中で、自分の悩みや不安なども不思議と自然に話し合えた。講座から学んだことだけでなく、今回出会えた人々が今後の自分の財産になると感じた。
（女性）